**資料３－１**

**■専門部会からの報告について**

**就労支援部会　報告書**

|  |
| --- |
| **■第３回就労支援部会** |
| 日時：令和６年１月２９日（月）　午後１時００分～午後２時３０分 |
| 会場：大崎ブライトコアホール |
| 概要：**１．超短時間雇用シンポジウムについて** |
| 就労支援部会と品川区の共催で、１月２９日に大崎ブライトコアホールで開催した。  （１）プログラム  ・特別講演：超短時間雇用とは  講師：東京大学先端科学技術研究センター  社会包摂システム分野 　教授　近藤　武夫　氏  　　　　　・事例報告①  　　　　　　　登壇者：社会福祉法人げんき  　　　　　　　　　　　　障がい児通所支援事業所　ちびっこタイム品川  　　　　　　　　　　　　児童発達支援管理責任者　堀内　希　氏  ・事例報告②  　　　　　　　登壇者：ジャパンフリトレー株式会社  　　　　　　　　　　　　経営企画本部人事部　石川　晴希　氏  ・トークセッション  　　（２）実施結果  ・会場参加者数：７７名  ・オンライン参加者数：４７名  　　　 （３）アンケート結果  　　　　　 ・回収数：５５件   1. 参加種別   個人：１９、事業者等：３１、その他：５   1. 導入予定（事業者等への質問）   導入したい：０、検討中：９、導入する予定なし：９  その他：１１（管理者と相談、将来的に考えたい、未定等）   1. 自由意見   　　　　　　・企業につないでいただくコーディネーター的存在が必要だと思う。その方が障害のある方に寄り添っていただける人であることで、安心して仕事につけると思う。  　　　　　　・当事業所は、ろう者と精神、知的、自閉症との複合障害の利用者が多く、短時間しか就労できない人たちも多い。  ・超短時間雇用で働いている人の賃金はどれくらいなのか大変気になった。  ・まずは区の施設などへ導入してはどうか。また通勤時間に問題があるので、自宅や自宅の近くで出来ること、例えば地域公園にあるトイレの清掃をお願いするなど可能ではないか。  ・パート・アルバイトの弱い立場、正規社員との格差といった課題に対して、尊厳ある超短時間雇用をどう担保、作っていくかが課題になると思う。  ・業務を整理して、働いてもらう環境の見直し、また、利用者さんの出来ることの見直しの必要性を感じた。  ・障害者雇用率、本人の賃金等を含め、職務の定義、短時間雇用等について、トータルで考えていく必要があるのではと感じた。 |
| |  | | --- | | 出席：部会長：区立発達障害者支援施設長 | | 部会員：１．品川区立心身障害者福祉会館 | | ２．品川宿 | | ３．げんき品川 | | ４．ジョブサ品川区 | | ５．～キセキの杜～ジョブステーション大井町 | | ６．LITALICOワークス五反田 | | ７．就労移行支援事業所サンライト | | ８．ミラトレ大井町 | | ９．ライクチャレンジサポート大森駅前 | | 10．リファイン就労支援センター五反田 | | 11．福祉工場しながわ（プチレーブ） | | 12. すまいる・さぽーと品川 | | 13．品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」 | | 14．かもめ第一工房 | | |  | | --- | | 15．かもめ第二工房 | | | |  | | --- | | 16．かもめ第三工房 | | | 17. トット文化館 | | 18．ふれあい作業所西品川 | | 19．TODAY南品川 | |  | |  | |  | |